

会 議 録

会議名称	令和元年度タウンミーティング	記録者	地域整備課 課長補佐
日 時	令和元年7月30日（火） 午後7時～午後8時30分		
会 場	柳瀬会館		
出席者	町 長：町長、副町長、参事兼総務課長、参事兼財政課長、 企画振興課長、地域整備課長補佐（書記） 住 民：12人		
会議内容	1 開会 2 町長あいさつ 3 出席者紹介・開催趣旨説明 4 第二次宝達志水町総合計画基本構想等の説明 5 意見交換 6 閉会		
会議結果	<p>●質問</p> <p>樋川小学校の教育レベルが高いが、宝達中学校に行くと低くなっている。教育レベルの維持が出来ないものか。</p> <p>○回答（副町長）</p> <p>樋川小学校は県内でも高いレベルにある。中学校は県内でも真ん中のレベル。</p> <p>小学校で一番成績が良いのは宝達小学校。目が行き届く範囲であることが影響していると思われる。</p> <p>○回答（町長）</p> <p>はっきりとした原因をつかんだわけではないが、今のところ現場任せ、教育委員任せ、人任せのところがあるのではないかと思う。</p> <p>子ども、教育委員、先生、メンバーが変わって、中学校に行っても成績が下がるのはあまり良くない。行政としても管理できるような取り組みをしていかなければと思っている。</p> <p>●質問</p> <p>小さい時の成績の良いままで進むことは出来ないか。</p> <p>○回答（参事兼総務課長）</p> <p>小規模校、大規模校それぞれにメリット、デメリットあると思う。中学校へ行って何が悪くて伸びないか明確なものは無く、いろいろなことが複合的に絡み合っている結果だと思う。</p>		

■意見

小学校から中学校に行くと学力がダウンしている。小学校から中学校へアップする、中から上にアップする考え方をして欲しい。

○回答（町長）

中学校へ行って学力が下がってしまうのは良いことではなく、そこはしっかりと対処していかなければならないと思っている。

■意見

南部保育所の角の交差点に横断歩道を設置してもらえないか。

○回答（参事兼総務課長）

横断歩道、信号機については、町の判断で設置することができず、県公安委員会の対応となる。横断歩道が必要ならば、役場から警察、公安委員会に要望する。集落要望として挙げていただければ町も要望しやすいため、集落の意見として町へ要望書を出していただけたらと思う。

ただ、要望したからといってすぐに設置されるものではない事を理解願います。

●質問

アンケート結果で、「町に住みたいと思う」町民が4割から5割程度となっているが、実際は戻ってこないから人口が減る。将来、町に住む人が少なくなるのは当たり前で、こういう事にならないように歯止めをする施策を町は考えていると思う。町に住みたいと思う人が多いが、それをどう実現させるかは町の仕事だと思う。

そこで、町外への通勤費の助成対象者がなぜ30歳までなのか。予算が少ないからなのか。もうちょっと幅を待たせる事が出来ないか。

○回答（参事兼総務課長）

将来にわたって本町で住まいするか、町外で住まいするかを考える年代という観点から30歳をラインとしたが、30歳を固定するつもりはなく、随時見直しをかけていく。今回のご意見は検討させていただきたいと思う。

●質問

子どもが義務教育の間は、対象にすればどうか。

年齢を問わず、義務教育の間はお金がかかるわけで、その分を通勤費の方で補助してもらおうというのはどうか。

○回答（参事兼総務課長）

例えば、40歳でも50歳でも、子どもが義務教育中で金沢へ通っている方を対象にというのも、一つの考えだと思う。

毎年見直しをかけており、去年の実績を踏まえ来年どうするかを検討していく。今回のご意見も反映させたい。

●質問

実際に何名が利用しているのか。

○回答（参事兼財政課長）

29年度は60人。

●質問

自己申告ですよ。

○回答（参事兼総務課長）

制度を知ってもらい、申請を促すために今回全戸へ申請用紙付きの案内をした。当該制度が目にとまったという事であれば、良かったと思う。

また、町が実施する施策について、PRが下手だと常日頃から言われている。ご意見が出たことは大変うれしいことです。

○回答（町長）

PRが下手というか、周知する媒体数が全然足りない。町外の人宅の補助制度を知らない方が以外にも多く、毎月、皆さんに知ってもらうくらいまで広報を出していこうと思う。

地域の魅力をしっかりと知ってもらうことは大事です。宝達志水町は何もないと皆さん思いがちですが、世界でも有数の海岸があったり、ルビーロマンがあったり、これらをはっきりと人に自慢出来るくらいのレベルで地域の素晴らしさを持ってもらうようにしなければならない。

また、企業誘致を進められるような町有地がいくつかあるので、企業の方に使ってもらえるようにもっと積極的に出していきたい。使いみちを変えてでもやっていきたい。

大事な産業として農業もありますが、若い方に魅力のあるものと捉えてもらってやっていけるような、そういう風にしていかなければならない。総合戦略を作る上で数値目標を挙げてやっていかなければと思う。

●質問

参加者が少ない。役場職員には出席要請はしていないのか。

○回答（町長）

役場職員は、自主的に参加することになっている。

●質問

役場職員が参加することで総合計画の内容も浸透されると思う。役場職員の参加も必要ではなかったか。

○回答（参事兼総務課長）

今回のタウンミーティング開催にあたり、区長にタウンミーティングをさせていただきたいと申し出ました。

その際、何人くらい参加者を動員すればよいのかという話がありました。多ければ多いほどいいのでは、という話の中で、あえて今回は何人集めてくださいという話はしませんでした。今回のタウンミーティングは参加者が一人であっても、説明をして意見を聞こうという気持ちでやっています。

実際、人数が少ないという感覚をお持ちでしょうが、今までタウンミーティングを各地区で開催してきましたところ、だいたい20名前後の参加者数です。非常に、話しも通りますし、意見もフリートークで出していただけるので、今回は、私個人的には、皆さんと膝を突き合わせた話し合いが出来て良かったなと思っております。

タウンミーティングは来年もするかも知れませんが、集落という単位ではなく、いろいろな組織、団体、そういうような考えでやる事も考えてみたいと思います。

○回答（町長）

参加者が少ないのは、残念ながら町に感心を持っていただけていないことになります。

本日の会場に来ていただいているのは、主に区長、地区の役員の方とか、町の行政に関わりのある方であり、そうでは無い方にも来ていただくようにしなければいけないと思います。

今回のタウンミーティングも実は大事なテーマに関しての開催なのですが、関心を持っていただけていないのは、町自体に関心を持っていないということだと思えます。

町外へ転出してしまう方が多いというのも、町外で仕事をしていると必ずしもここに住んでいる必要がない。かほく市に住んでいても、津幡町に住んでいても同じような生活になるという考え方があるのだと思えますが、そうではなく、宝達志水町に住んでいなければと思っ

てもらおうようにしていかなければならないと考えています。

私たちの努力が、なお必要というであり、町に関心を持っていただけるようにしなければと思っています。

■意見

自分のまわりには、町を何とかしようと思っている若者がいっぱいいます。いろいろな活動をしている人がいっぱいいるのに、横のつながりがあるのかなと思うところがあります。その人達と町がつながれたらと思います。

●質問

町を良くしようと思っている人をたくさん知っています。そこがバラバラなのはもったいないので、そういう人達を行政がバックアップすればどうか。

○回答（町長）

何かをしたいと思っていただいているのはありがたいことです。声が届かないというか、いただくような努力もしなければと思います。

広報誌にご意見、ご提案をお聴きするためのまちづくりレターの案内や、メールでもご意見、ご提案の受付をしていますけど、それだけでは足りないと思います。

まず、出向いてお話をさせてくださいとお願いする事が大事だと思います。私も声をかけていただき、出る事もありますので、遠慮なく声をかけていただきたい。

我々は、町の為に頑張りますし、町の事を思ってくださいる方の為に頑張らなければならないし、ご協力いただけるように、そのような方が増えるように頑張っていきたいと思っています。

■意見

通勤費の補助はいいと思う。子育てをするにはとてもいい所で、町の人達もすごく温かく環境もいい。通勤の便もそんなに悪くない。住むのにはとてもいい所だけれどもどうして出ていくのか、と思います。

そこで、宝達志水町に住んだらいいという具体例を示して伝えることが重要だと思います。

新聞に宝達志水町の事がいっぱい出ていますよね。東大の学生さんの事も出ていました。町の事を良くしたいと思っている人が沢山いることを広めていくことが大事だと思いました。

また、町内の小学校を見ましたけど、どの学校も誇れる学校です。こんなにいい環境で、いい学校で幸せだと思う。子ども達が増えることを節に願います。いっしょに頑張りたいと思いますので、出来る事

はどしどしやってほしいと思います。

○回答（副町長）

今、言われたように、こうした取組をこれからもやっていく。私は、その為に呼ばれたと思っている。

■意見

戦略的な土地利用の推進をぜひお願いしたい。

○回答（町長）

今、問い合わせがあったりするのですが、すぐに対応できる土地が無いという状況もあるので、そういう事がないようにしっかりとやっていきたい。